

看護することが喜びとなる 教育を目指して私たちは 情熱を傾けています



独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校

学校長 久保 俊 英

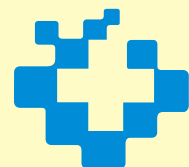
本校は戦後全国に3カ所開設された看護教育のモデルスクールの一つとして、昭和23年に誕生した歴史と伝統のある看護学校です。令和3年度より看護学科の一学年定員を80名とし、3学年あわせて320名が看護師を目指して勉強に励んでいます。また、定員16名の助産学科も併設しています。卒業生は約5105名となり、全国各地の医療機関や教育機関などさまざまな方面で活躍しています。本校では人間として立派に成長することが看護教育の基本であると考えていますので、人間教育にも力を注いでいます。

「博愛」「叡智」「自律」を教育理念として、人間性豊かな看護師になって欲しいと考えております。そのために必要な知識、技術を自ら学び成長できるように教職員一同は教育に情熱を傾けており、非常に高い看護師国家試験の合格率を誇っています。入学後は一般教育や基礎的な医学を学び、引き続き病気の診断、治療、看護など専門的な学習をしていきます。ある程度学習が進むと実習施設で実際に患者さまと関わりを持って学習する実習が始まり、看護師、助産師としての仕事を実感することになります。この実習は看護教育で重要な位置を占めます。母体病院を持たず実習がスムーズに出来にくい学校、大学が多い中で、本校は母体病院として隣接した岡山医療センターという609床の病床を持つ実習施設があり、大変恵まれた環境にあります。

岡山医療センターは全国に140ある独立行政法人国立病院機構に属する病院で「今、あなたに、信頼される病院」を理念としています。ユニセフから先進国では初めて「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けました。成育医療、移植医療、小児疾患、循環器疾患、腎疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、外科的疾患など、多くの領域で高度な医療を提供する中核的病院です。海外からの患者や研修医の受け入れなど、国際協力にも力を注いでいます。本校の卒業生もたくさん働いており、直接学生の講義や実習のサポートをしてくれます。また、医師の講師陣も多士済々で恵まれた教育環境で勉強できることが本校の誇りです。卒業後は岡山医療センターをはじめとして、全国に広がる国立病院機構の病院へ就職し、活躍しています。

ぜひ、本校の充実した教育環境の中で楽しく学生生活を送りながら、看護師・助産師になる夢を実現して頂きたいと思います。

ロゴマーク



OKAYAMA

『十字』+『発展』をかたどったイメージは看護助産学校のさらなる飛躍を意味し、伝統や権威、知性感に対する憧れを表現したものです。尚、デザインは専門のCIデザイナーによる数点の作品から当校の学生の投票により選んだものであり、未来感、躍動感にあふれています。そして“スカイブルー”はスクールカラーとして学生達にも親しまれています。

